令和３年度　学校自己評価書

静岡市立清水桜が丘高等学校

Ⅰ　経営の重点に関わること

（自己評価　Ａ：十分効果を上げた　Ｂ：効果を上げた　Ｃ：効果が上がっていない）

１　学校教育目標　　自己実現に向かって挑戦し、未来を切り拓くたくましい若者を育成する。			自己評価	学校関係者評価委員から	
２重点目標	(1)　心身の健康、豊かな人間性と規範意識の育成	①気持ちのよい挨拶ができると答える生徒の割合　80% 【学校説明】他を気にしないで過ごし、自分のことしか考えていない生徒も出てきている。 （生徒アンケートで「非常にそう思う」「そう思う」と答えた生徒 76.8%　以下の項目も同じ）	B	B	・学校教育の基本だと思います。よくできていると思います。 ・挨拶とてもいいと思います。交通マナーに関してはもう少し向上すると事故等が減ると思います。 ・コロナ対応が大変な中、対人に対し優しい生徒、心から挨拶のできる生徒の育成をお願いします。 ・④ＳＮＳ等の利用による「いいね」が習慣となり、他の人からよく見てもらいたい意識が高まっている背景もあるのでは。 ・⑥学校生活でどんなことが楽しいかを分析する必要があるのでは。 ・6 項目中 4 項目目標値に達していないのは残念だが、努力していると思う。
		②ルール、マナーに気を付けていると答える生徒の割合　90% 【学校説明】前年度とほぼ同様。交通マナーや電車内のマナーについて指摘を受けることもある。(91.0%)			
		③問題行動等件数、交通事故件数が前年度に比べ減少する。 【学校説明】交通事故件数（軽微なもの）や交通違反の数は前年度より増えている。			
		④自分に良いところがあると答える生徒の割合　65% 【学校説明】前年度とほぼ同様。生徒の自己肯定感は割と高い。（70.1%）			
		⑤１カ月に１冊以上の読書をする生徒の割合　60% 【学校説明】昨年より微減。（3 年を除く１，２学年では 49.2%　記録ｶｰﾄﾞより）読後の感想から知的な成長がうかがえる生徒もいる。			
		⑥学校が楽しいと答える生徒の割合　80% 【学校説明】昨年より微増。（76.1%）昨年度に比べ、感染対策に気を配りつつ実施できた行事（清桜祭や修学旅行など）があったからではないか。			
	(2)　知識・技能にとどまらない幅広い学力の育成と進路希望の実現	①授業の内容が分かると答える生徒の割合　60% 【学校説明】前年度と同様。(54.3%) 38.2%存在する「どちらともいえない」生徒を引き上げたい。	B	B	・ＩＣＴの活用は更に進めてほしい。 ・③目標値が低いのではと感じた。 ・アクティブラーニング型授業をどんどん推進してください。
		②アクティブラーニング型の授業を実践している教師の割合　85% 【学校説明】アクティブラーニングが大分浸透しており、様々な工夫が見られる。			
		③自分の考えを説明したり表現したりする力が身に付いていると答える生徒の割合　40% 【学校説明】前年度に比べ微減。探究の時間や授業を通して表現力や意見表明力をより伸ばせる機会を増やしていきたい。（47.8%）			
		④ＩＣＴを活用した授業を受けていると答える生徒の割合　75% 【学校説明】前年度とほぼ同様。(71.1%)様々なアプリ等を取り入れ授業を行っている教員も増えている。			
		⑤３年間を見通した進路指導計画の作成と学習時間・進路希望調査等のデータの活用。 【学校説明】Classi を活用し、学習時間や進路希望調査などを行っている。ある程度の学習時間は確保されている。データの活用方法を更に工夫していく。			
		⑥進学希望者の進路希望（３年当初）の達成率 50%以上、県内国公立大学合格 10 人以上を実現する。 【学校説明】進路希望の約 60%が達成した。県内国公立合格者は 12 名であった。			
		⑦就職希望者の就職決定率 100%を継続する。 【学校説明】学校を通しての就職決定率は１００%を継続している。			
		⑧進路指導計画に目標として示す資格を取得した生徒の割合　80% 【学校説明】簿記２級 21.9%、情報処理２級 84.3%(以上２年)、簿記３級 94.7%、情報処理 95.7%（以上１年）			
		⑨訪問受入、外国客船歓迎等国際交流活動の実施 【学校説明】コロナ禍の中では海外からの訪問受け入れ、外国客船歓迎等の国際交流活動は行えなかった。			
	(3) 基礎的汎用的能力を中心とする能力や態度を育成するキャリア教育の推進	①　主体的に取り組んでいることがあると答える生徒の割合　65% 【学校説明】前年度とほぼ同様。（68.0%）積極的に取り組める仕掛けを授業に取り入れていきたい。	B	A	・コロナ禍の制限のある環境の中、よく取り組まれていたと感じます。 ・複数の部活動が東海大会や全国大会に出場することがニュースで報道されており大変立派だと思う。文武両道の高校として市民に知ってもらいたい。 ・これからも部活動を軸に地域・社会に広く認知される存在になってほしい。
		②　挑戦していることがあると答える生徒の割合　70% 【学校説明】前年度に比べ微減した（68.4%）。コロナ感染拡大の影響も考えられる。			
		③　さくらチャレンジサポート事業を利用する生徒数が 30 個人以上となる。 【学校説明】今年度は、水泳部 14 名、ワープロ部 16 名、女子バレーボール部 9 名、合計 39 名が利用し、それぞれの各大会等に参加し、良い経験をすることができた。			
		④　複数の部活動が東海大会、全国大会に出場する。 【学校説明】今年度は、男子バレーボール部、男子ハンドボール部、陸上競技部が全国総体に、女子ハンドボール部が東海総体に、男子バレーボール部は春高バレーにも出場した。文化部ではワープロ部、報道部が全国高文祭に出場した。また来年度開催される全国高文祭には、美術部、報道部の出場が決まっている。			
		⑤　商業、家庭科、総合的な探究の時間、部活動を軸に、地域・社会と連携した活動を推進する。 【学校説明】静岡大学・ＪＡ・清水エスパルス・鈴与・岡生涯学習交流館をはじめ、多くの外部人材に授業や行事に参加していただいた。将来の職業選択につながる取組を早い時期から実施していきたい。			
		⑥　総合的な探究の時間において探究的な活動を充実させる。 【学校説明】「シチズンシップ学習」を通じて、本校の特色と関連した探究学習が行えた。地域が抱える問題や解決に向けて取り組む姿勢を促していきたい。			
	(4) 市民の信頼に応える学校経営の推進	①信頼できる先生がいると答える生徒の割合　70% 【学校説明】前年度とほぼ同様。（60.4%）	B	B	・信頼できる先生をさらに増やしてほしい。 ・ＨＰだけでなくＳＮＳツール等活用できるとよいと思います。クラッシーはとても良かった。 ・先生を信頼できない保護者・生徒が 4 割近くいるのは残念というか情けない。80%近くの人が信頼できる先生を目指してください。 ・信頼できる先生とはどんな先生かアンケートをしてみてはどうか。双方向コミュニケーションを図ることが重要だと思います。
		②ＨＰや配布物等により、学校の様子がよく分かると答える保護者の割合　70% 【学校説明】前年度に比べ７%減少した。（60.2%）参観や文化祭に保護者が来られなかった影響もある。			
		③学校通信の地域回覧 報道部の作成した「薫風」を岡地区の各自治会に配布した。			
		④地域主体の避難所運営計画を作成し、避難所運営訓練に協力をする。 【学校説明】今年度は新型コロナウイルス感染症の関係もあり、地域と連携した防災勉強会は実施しなかった。また、11 月 24 日に岡交流館で地域の人たちとの会議があったが、学校行事のため欠席となってしまった。会議の内容を書面等で確認した。			
		⑤令和４年度入学者選抜において定員を上回る志願者を確保する。 【学校説明】商業科の定員を満たすことはできなかったが、普通科は達成した。			
	(5) 働き方改革	①模試監督、放課後学習会監督等における保護者等の活用、講習等における外部講師導入を推進する。 【学校説明】放課後学習監督は、今年度６名、47 時間の保護者の協力があり、先生方の負担が減少し、とてもありがたかった。外部講師については、新型コロナウイルス等の関係で呼ぶことは難しかった。	B	B	・保護者の協力は非常に良い取り組みだと思います。
		②クラッシーにより代替できる業務を確認する。 【学校説明】アンケートや勉強時間調査、テスト結果や学習動画の配信など、職員の利用範囲が広がった。ロイロノートの活用も広がってきている。			

Ⅱ　各指導部・領域に関わること

（自己評価　A：十分効果を上げた　B：効果を上げた　C：効果が上がっていない）

大項目	中項目	評価指標	自己評価	学校関係者評価委員から	
1 教育課程	（1）確かな学力の定着 【市共通項目１】	①　基礎基本の徹底と学習の習慣化を図るとともに、ＩＣＴの活用などによるわかりやすい授業を実施する。 ②総合的な探究(学習)の時間を活用して、自ら考え、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。 ③「職場体験学習」「外部講師による講座」をはじめ、実社会との連携による教育活動を推進する。 【学校説明】ＩＣＴの活用はほぼ 100％浸透している。ただ、それが生徒の知識・技能の定着や向上につながっているか検証が必要である。外部人材の積極的な活用とシチズンシップの成果を発表する機会を設けることができた。今後は新学習指導要領に沿った指導・評価のあり方を学校全体で取り組む必要がある。	A	A	・ＩＣＴを利用した授業をぜひ推進してください。 ・「命の大切さ」は人権の基本だと思います。 ・社会に出た際に必要となるマナーや規範意識等の指導がとてもよくできていると感じます。 ・ボランティア活動は大賛成です。ひとり１ボランティア活動を目指してほしい。 ・岡フェスとても工夫されておりよかったです。 ・地域とのつながりを深める交流活動は今後も続けてほしいと思います。 ・よくできていると思います。特に「清水岡フェス」については関心を持っており、学校と地域・企業を一体となって実施しており、コロナ禍で多くの人の参加がのぞめなかったが、ぜひ継続事業にしてほしい。
	（2）道徳教育の充実 【市共通項目２】	①「道徳教育の全体計画」を周知し、各教科、科目において道徳教育に関わる単元・項目を考慮して授業展開を図る。 ②命の大切さや弱者へのいたわり、他人に対する奉仕の心を養うため社会貢献活動を奨励し、その為の啓発活動を推進する。 ③規範意識、マナー、生活態度等の指導に職員全体で取り組むとともに、望ましい姿勢について生徒自身に考えさせる機会を作る。 【学校説明】福祉講座や障害者競技の体験を通して、いたわりや奉仕のこころを養う教育に取り組んだ。また、部活動や委員会が地域とのつながりを深める交流活動やボランティア活動を行った。	A		
	（3）特別活動の充実 【市共通項目３】	①さまざまな学校行事を通して、生徒の自主性や主体性を育み、望ましい人間関係を形成する態度を育成する。 ②修学旅行や海外語学研修のプログラムを充実させ、国際理解教育の推進を図る。 【学校説明】12 月に岡生涯学習交流館と清水ロータリークラブとの共催で開催した「清水岡フェス 2021」では感染対策を万全にした上で工夫を凝らした展示や販売を実施し、生徒は達成感や充実感を得ることができた。コロナ禍の影響で海外語学研修は中止となったが、国内での修学旅行は実施することができた。	A		
2 生徒指導	（1）一人ひとりを大切にした指導 【市共通項目４】	①普段から生徒の言動に十分気を配り、また、一対一の面談をする機会を設け、目標に向けた取り組みを支援し、個々に適応した対応を心掛けるとともに、心の交流を図る。 ②学校カウンセラー、スクールソーシャルワーカー等を効果的に活用し、支援の必要な生徒に対して適切に対応する。 【学校説明】昨年同様、コロナウイルス感染に関する誹謗中傷や差別という観点から、人権教育に関する伝達講習を職員向けに実施した。相談日の予算確保することによって相談日を増やすことができた。養護教諭との連携の中で、医療機関の紹介や外部関係機関との連携を図ることもできた。	A	A	・人権教育の推進は大切なものです。 ・いじめ等むずかしい課題ですが、今後も未然防止できるよう取り組みをお願いします。 ・生徒個々が孤立しないで、未来に向け明るい人生の選択ができるよう指導よろしくお願いします。 ・「いじめ対策組織」に情報が入ってくる仕組みを検討してはどうでしょうか。 ・日ごろの生徒の言動に注意し、定期的に職員・生徒が情報交換の場を設けてよく話し合ってください。
	（2）校内のいじめ対策組織の運営の適正 【市共通項目 11】	①「いじめ防止等のための基本方針」を策定して職員に周知し、共通理解のもとに対処する。 ②「いじめ対策組織」を設置し、定期的に情報交換をする。 【学校説明】年 2 回のいじめアンケート実施後、記述のあった生徒には個々に事情を聴くなど対応したが、重大な問題はなかった。また、情報交換しやすい環境を整えた。	A		
	（3）いじめの早期発見、状況把握と対応の適切化 【市共通項目 12】	①年２回実施している「いじめアンケート」の内容を、より実態が把握できるように見直す。また、事後の対応を相談室と連携して行う。 【学校説明】今年度、いじめのアンケートについては、見直したが昨年同様のものとした。また、事後の対応に関しては、聞き取り調査を行ったが、相談室に相談するような重大案件はなかった。 ②教育相談体制を整備し、生徒・保護者がいじめを訴えやすい環境を整え、実態把握に努める。 【学校説明】いじめアンケートの事後対応については、相談室等と連携するような案件はなかった。保健室や相談室は常に生徒が相談しやすい環境が整っている。また、先生方は面談やクラッシー等を使用し、生徒とコミュニケーションを図り、早めの声掛けができるようにしている。	B		
	（4）いじめの再発防止に向けた取組 【市共通項目 13】	職員を対象として、いじめの未然防止に向けた取組に関する研修会を行う。また、生徒に対しては生徒会主催の啓発活動を行う。 【学校説明】職員に対しては人権教育の研修会を実施し、人権への意識を高めることや、生徒の言動について注意する点など学んだ。今年度は生徒主催の啓発活動は行わなかったが、来年度は実施できるよう検討したい。	B		
3 進路指	一人ひとりの進路の実現	①生徒の進路希望や生活の様子を把握し、適切な学習支援・助言を行う。 ②講習や模擬試験等を通じて、学力向上や検定取得を目指す。 ③進路意識を高める行事を企画する。（大学見学・模擬授業・職場体験学習・講演会等） 【学校説明】学年や進路課の主催する講習や行事を計画的に実施した。	A	A	・学校教育は「進路指導」という考え方を広めてほしいです。
4 安全管理・	学校安全システムの構築 【市共通項目５】	①生徒の交通安全に万全を期すため、交通安全教室や交通安全指導（登校指導）等で周りを常に意識した交通ルール・マナー遵守の徹底を図る。 ②「学校安全計画」を策定し、防災避難訓練を計画的に実施する。また生徒・職員の防災意識の高揚に努める。 【学校説明】些細な事故も報告をさせていることで、件数は増えているが、注意喚起をその都度してことで交通安全指導を徹底することに努めている。学校が一斉に動き出した場合の避難誘導がスムーズに行われるかどうかが課題。また、地震が起こった際の生徒の引き渡しなど、もう一歩踏み込んだ実践に近い動きの訓練が今後は必要。	A	A	・交通ルール遵守徹底をお願いします。
5 保健管理・	健康教育の充実 【市共通項目６】	①健康診断、健康観察等を通して生徒個々が抱える健康課題を把握する。 ②校内救急体制を迅速に実行できるようにする。 ③校内外と連携を図り、組織的に対応をしていく。 【学校説明】朝食摂取率が９３．２％（例年は９８％前後）であった。昨年同様、コロナ禍の影響で、検診の実施が以前よりも遅くなった。新型コロナウィルスの感染拡大状況に留意しながらも、早期の受診が必要な場合については、適宜受診を勧めていきたい。	B	B	・健康が基本です。
6 特別支援教育	学校の実態に応じた校内支援体制づくりの推進 【市共通項目７】	①教育相談に関わる研修を計画的に行う。 ②特別支援の必要な生徒の把握に努めるとともに、必要に応じた支援や合理的配慮を行う。 ③個に応じた特別支援の方法の研究、個別の支援計画等の作成を推進する。 ④スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用方法の研究と実践に努める。 【学校説明】SC,SSWr と学年部との連携が円滑に進むように教育相談体制の充実を図った。養護教諭との連携の中で、医療機関の紹介や外部関係機関との連携を図ることもできた。相談件数の増加に踏まえ、ＳＣ，ＳＳＷｒの相談日の時間を勤務しやすい時間帯に調整する必要がある。	A	A	・教育相談の体制は整っている。
7 組織運営	組織・運営の改善 【市共通項目８】 時間管理の徹底	日課や朝学習等を工夫するなどして、職員の最終退出時刻が午後 9 時以降になる日数を昨年度よりも少なくする。 【学校説明】多くの先生方は、働き方を意識していると思うが、多忙な時期がずれるため、最終退出時間が午後９時以降になる日も多く出てしまっている。今年度、タイムカードを導入し、先生方が時間管理しやすいような環境を整えていく。	B	B	・職員の退出が午後９時になる日数を減らすよう頑張ってください。 ・ツール等を上手に活用して、負担を軽減できるよう今後も対応ください。
	組織・運営の改善 【市共通項目８】 事務業務の軽減	クラッシーなどの教育支援ツールやＩＣＴ機器により、職員の負担を軽減する。 【学校説明】保護者アンケートや学習時間調査、生徒とのコミュニケーションツールとしてクラッシーを活用できた。また、ロイロノートの本格的導入でアンケートの実施、課題の配布・回収などが業務の負担軽減につながっている面もある。しかしながら、ロイロノートによる体調管理の確認など負担が増えたのも事実である。	B		
8 研修	研修体制の充実 【市共通項目９】	①校内研修テーマ（アクティブラーニング研究）に沿った研修会を前期・後期年２回定期的に実施する。 ②授業公開週間を前期・後期年２回、３週間ずつ実施し、教員の教科指導力向上と生徒の実態把握に努める。 ③各種研修会・研究会・講演会などの情報提供を積極的に行なうように努める。 【学校説明】計画通り実施した。アクティブラーニングの授業公開では多数の教員が積極的に参観した。職員研修会は前期・後期とも新学習指導要領の観点別評価に関する内容とし、来年度に向けて職員に周知を図った。	A	A	・校内研修テーマ「アクティブラーニング」を推進してください。 ・計画通り実施している。
9 保護者・地域の住民等との連	信頼される学校づくりの推進 【市共通項目 10】	①本校の教育目標・方針や教育活動を積極的に紹介し、定期的にＨＰの情報を更新する。 ②学校行事を保護者や地域住民にも案内し、本校の教育活動に理解と協力を求めるとともに、本校の持つ教育機能を広く地域社会に還元する。地域防災や、ボランティア活動への積極的な参加を推進する。 ③ＰＴＡ総会・地区ＰＴＡを通じて保護者や同窓会員に学校の教育方針・教育内容や学校の現況を伝え、理解・協力を求めると同時に、同窓生・保護者からも広く意見を聴取する。また、ＰＴＡ広報紙では同窓会の活動の様子を保護者に発信する。 ④中学生やその保護者に授業を公開する。 【学校説明】学校案内・ＰＴＡ広報誌は計画通り発行した。対面での総会が難しい状況の中、ＰＴＡ本部役員と話し合いを重ねながら、書面総会の円滑な準備・実施ができた。コロナ禍により年２回のオープンスクールが１回しか実施できなかった。来校者が密にならないよう参加者を限定するなどの工夫をし、円滑な運営ができた。オープンスクール参加者の個人情報を扱う際に、複数でチェックするとともに、管理職との連携を密にする。	B	B	・信頼される学校づくりは永遠の課題です。 ・オンライン授業参観等を試行しみてはいかがでしょう。
10 施設設備	教育施設設備の充実と安全管理	施設・設備、用具・器具は日常的に点検を実施し、学校事故等の防止に努める。 【学校説明】職員安全衛生委員会を毎月開催し、危険個所の把握、点検を行った。危険が指摘された箇所は用務員等により速やかに安全対策が施された。用務員による安全点検は日常的に実施している。	A	A	・日常的に点検を実施して、事故防止に努めているので良いと思う。